

**令和8年度
東松山市クビアカツヤカミキリ
被害拡大防止補助金
交付の手引き**

【お問い合わせ先】
〒355-8601 東松山市松葉町 1-1-58
環境産業部環境政策課
TEL 0493-63-5006
FAX 0493-23-7700

東松山市では、クビアカツヤカミキリの被害拡大を防止するため、被害木を所有する個人、事業者等を対象に、被害木の伐採及び薬剤防除費用の一部を補助します。

1 補助対象者

市内に植生する被害木を所有又は管理する者で、次の要件を全て満たしている方が補助対象者になります。

- (1) 事前に市へ被害報告を行っており、市から被害の確認を受けている者
- (2) 被害木の薬剤防除や伐採等を業者に請け負わせた者、または、自ら薬剤防除を実施するために薬剤を購入した者
※伐採で申請する場合は、伐採した樹木のチップ化又は焼却処分まで業者に委託していただくことが条件です。
- (3) クビアカツヤカミキリの防除を実施するにあたり、他に補助金の交付を受けていない者
- (4) 暴力団又は暴力団員と関係を有していない者
- (5) 補助金の交付申請時において、市税の滞納がない者

※申請者と土地所有者が異なる場合は同意書(任意の様式)が必要です。

2 補助対象になる経費

- (1) 伐採委託費用 …被害木の伐採及び、処分を業者に請け負わせた場合の委託費用
※自ら伐採した場合の費用は対象外です
- (2) 薬剤防除委託 …薬剤防除を業者に請け負わせた場合の委託費用
- (3) 薬剤等購入費用 …薬剤防除を自ら実施するために、指定の農薬を購入した場合の費用
※埼玉県環境科学国際センターが発行している「サクラの外来生物“クビアカツヤカミキリ”被害防止の手引」に記載されている農薬が対象となります。【別紙参照】

3 申請書類

「東松山市クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金交付申請書兼請求書(様式第1号)」と、以下の添付書類を市環境政策課へ提出してください。

- (1) 本人確認書類の写し
- (2) 登記簿謄本の写し(法人の場合のみ)
- (3) 誓約書(様式第2号)
- (4) 支払い証拠書類(補助対象経費の詳細が分かる領収書等で、申請者名、発行者、作業日や作業内容などの記載があるもの)
- (5) 防除実施前・中・後のそれぞれの写真
- (6) 土地所有者の同意書(申請者と土地所有者が異なる場合のみ)
- (7) その他市長が必要と認める書類

4 補助金額

補助対象経費の2分の1の金額(100円未満切捨)で、上限50,000円

5 申請期間

申請期間: 令和8年10月1日(木)～令和9年1月29日(金)

※受付期間中でも、予算額に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。

6 申請にあたっての注意事項

- (1) 事前に市へ被害報告を行っており、市から被害の確認を受ける必要があります。
- (2) 令和8年10月1日以降に実施した防除費用が対象となります。
また、被害木に対して著しく適量を超える農薬等の購入分は補助対象外です。
- (3) 同一世帯内に補助対象者が2人以上いる場合であっても、補助上限額は1世帯につき5万までとなります。
- (4) 同一土地内にある被害木に対して2人以上の補助対象者がいる場合であっても、補助上限額は当該土地につき5万円までとなります。
- (5) 防除を実施する前、及び実施中の写真の撮り忘れにご注意ください。
- (6) 振込先の口座名義、口座番号は、間違いがあると振込みエラーで正常に手続きができませんのでご注意ください。

7 補助金交付の流れ

①市へ被害報告

補助金を受けるには、事前に市へ被害報告をしていることが条件です。申請の前に一度、東松山市環境政策課までご連絡ください。職員が現地を確認しに行きます。
※埼玉県が県内の被害状況を集約している関係で、報告いただいた情報は県にも共有させていただきます。あらかじめご承知おきください。



②防除の実施

市から被害の確認を受けた後、必要な防除を実施してください。
※補助の対象になるのは伐採委託・薬剤防除委託・薬剤等購入にかかる費用です。
※伐採の場合は処分（焼却処分またはチップ化まで行ってください）
※写真の撮り忘れにご注意ください。



③申請

「東松山市クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金交付申請書兼請求書（様式第1号）」と、必要な書類を用意し、市環境政策課へ提出してください。



④交付決定

提出いただいた申請書類を確認し、不備等なければ交付決定通知書を送付いたします。その後、申請者の指定口座へ補助金を振り込みます。
※補助金の振込みは、交付決定通知から1か月程度かかる場合があります。ご承知おきください。

【別紙】 農薬一覧

「サクラの外來害虫“クビアカツヤカミキリ”被害防止の手引」（埼玉県環境科学国際センター）より抜粋

＜フラス排出孔に注入する農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
ロビンフッド (フェンプロパトリン)	—	—	6回以内	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	幼虫	6回以内
アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	100倍	—	6回以内	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入 ^{注1)}	幼虫	6回以内
園芸用キンチョールE (ベルメリン)	—	—	—	食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射	幼虫	—
マツグリーン液剤2 (アセタミプリド)	50倍	発生初期	5回以内	食入孔に注入	幼虫	5回以内

＜樹体に穴を開けて注入する農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
アトラック液剤 (チアメトキサム)	—	幼虫発生前～ 幼虫発生期	3回以内	樹幹注入 ^{注2)}	幼虫	3回以内
ウッドスター (ジノテフラン)	—	新葉展開後～ 落葉前まで	3回以内	樹幹注入 ^{注2)}	幼虫	5回以内
リバイブ (エマメクチン安息香酸塩)	—	発生前 ～発生期	1回	樹幹注入 ^{注2)}	幼虫	1回

＜幹やその分枝に巻き付ける農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
バイオリサくカミキリ>スリム (ボーベリア ブロンニアティ)	—	成虫発生初期	—	主幹又は主幹の分枝部分に巻き付ける。	成虫	—

注1) フラス排出孔に農薬を注入することを示す。

注2) 樹体に穴を開けて農薬を注入することを示す。注入量と注入方法は、各農薬指定の使用方法に従うこと。

＜樹幹に散布する農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	200倍	成虫発生直前～ 成虫発生期	6回以内	主幹から株元に散布	成虫	6回以内
マツグリーン液剤2 (アセタミプリド)	20倍	成虫発生初期	5回以内	樹幹散布	成虫	5回以内

＜伐倒木・枯損木をくん蒸する農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
キルパー40 (カーバムナトリウム塩)	—	—	1回	加害された伐倒木を集積したもののまたは枯損木に、所定薬量を散布し、直ちにビニールシート等で密閉し所定期間(14日以上)くん蒸する。	幼虫	1回
NCS ヤシマNCS (カーバム)	—	—	1回	加害された伐倒木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する(14日以上)。	幼虫	1回

＜樹体全体に散布する農薬＞

農薬名 (成分名)	希釈倍率	使用時期	使用回数	使用方法	対象	同一成分を含む農薬の 総使用回数
アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	1000倍	成虫発生直前～ 成虫発生期	6回以内	散布	成虫	6回以内
マツグリーン液剤2 (アセタミプリド)	200倍	成虫発生初期	5回以内	散布	成虫	5回以内
モスピラン顆粒水溶剤 日農モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	2000倍	発生初期	5回以内	散布	成虫	5回以内
ダブルトリガー液剤 (シクラニプロロール)	2000倍	発生初期	2回以内	散布	成虫	2回以内
オリオン水和剤40 (アラニカルブ)	1000倍	成虫発生期	5回以内	散布	成虫	5回以内
ダントツ水溶剤 協友ダントツ水溶剤 (クロチアニジン)	2000倍	成虫発生初期	5回以内	散布	成虫	6回以内
ベニカ水溶剤 (クロチアニジン)	2000倍	成虫発生初期	5回以内	散布	成虫	6回以内
トルネードエースDF MICトルネードエースDF クミイトルネードエースDF 丸和トルネードエースDF (インドキサカルブ)	1000倍	成虫発生初期	4回以内	散布	成虫	4回以内
カルホス乳剤 (イソキサチオン)	1000倍	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
住化スミチオン乳剤、日産〃、 ホクコー〃、日農〃、サンケイ〃、 クミアイ〃、一農〃、理研〃、 緑化用〃、家庭園芸用〃、 協友〃、ホクサン〃 (フェントロチオン)	1000倍	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
ファイントリムDF (インドキサカルブ)	1000倍	成虫発生初期	4回以内	散布	成虫	4回以内
ロビンフッド (フェンプロバトリン)	—	成虫発生初期	6回以内	噴射	成虫	6回以内
ベニカXネクストスプレー (還元澱粉糖化物・クロチアニジン・ ピリダリル・ベルメトリン ・マンデストロビン)	原液	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
ケムシジェット (クロラントラニプロロール ・ピフェントリン)	—	—	6回以内	噴霧液が均一に付着するよう に50cm以上離れた所から 数回断続して噴射する。	成虫	6回以内
アグロスリン水和剤 クミアイアグロスリン水和剤 日農アグロスリン水和剤 (シベルメトリン)	1000倍	成虫発生初期	6回以内	散布	成虫	6回以内
バダンSG水溶剤 協友バダンSG水溶剤 (カルタップ)	1500倍	成虫発生期	3回以内	散布	成虫	3回以内
花木用ハンドスプレー (ベルメトリン)	原液	成虫発生初期	6回以内	希釈せずそのまま散布す る。	成虫	6回以内
ベニカミキリムシエアゾール (フェンプロバトリン)	—	成虫発生初期	6回以内	噴射	成虫	6回以内